

大震災、あれから7年・・・

『春なのに』*in* 陸前高田

‘ウィーンから故郷を想う’

2018年4月1日(日)

開演 14:00 (開場 13:30)

陸前高田市コミュニティホールシンガポールホール

入場料 一般 1,500円 当日 2,000円 (全自由席)

【出演】

菅野 祥子 (かんの しょうこ) メゾソプラノ

平野 玲音 (ひらの れいね) チェロ

矢崎 さくら (やざき さくら) ピアノ

【曲目】

ブラームス：2つの歌曲

モンサルヴァージュ：民謡《鳥の歌》の主題によるマドリガル

菅野祥子：春なのに、波栗(なみだ)、朝陽 他

お問い合わせ
チケット取扱

陸前高田市：アバッセタカタ専門店街インフォメーション、伊東文具店(アバッセタカタ専門店街内)

大船渡市：サンリア

お問い合わせ先：090-8781-5317 (千葉)

主催：菅野祥子仲間の会 共催：けせん「第九を歌う会」

後援：陸前高田市教育委員会、大船渡市教育委員会、住田町教育委員会

陸前高田市芸術文化協会、大船渡市芸術文化協会、住田町芸術文化協会、岩手日報社、東海新報社

協力：平野玲音ファンクラブ デザイン協力：アサヒ・エディグラフィ

協賛： 河屋

「一本松」写真提供：佐藤操(陸前高田市)

千年に一度と言われた大震災から7年。

多くの方々に支えられて、ようやく町には人々が行き交い始めました。

あの時、心を寄せて音を奏でてくれた平野さん 仲間達と再び演奏できる
“この時”に深く感謝しています。

ウィーンにて菅野祥子

菅野 祥子 Shoko Kanno (メゾソプラノ)



陸前高田市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科を経てウィーンに留学。声楽をオルガ・ワルラ・コロ、クルト・ヴィトマーの各氏に、リート・オラトリオをワルター・モーア氏に師事。

チェコ・ブラハ国立歌劇場で蝶々夫人のスズキ役、カルメンのメルセアス役で出演。パリのユネスコ本部にてサンクトペテルブルク建都300周年記念音楽祭、ボスニア民族音楽祭、ローマフェスティバルに出演。ヨーロッパ各地でコンサートを行い、その豊かな経験と日本の繊細さが微妙に融合された表現は、人々の内なる世界に触れると高く評価される。ベートーヴェンの第九やモーツァルトのレクイエムのソリストを務める。友愛ドイツコンクール入賞。ルイーゼ・ストラメージ声楽コンクール(イタリア)のオペレッタ部門第2位入賞。国内では王子ホール、大賀ホールや全国各地でリサイタル。

2011年東日本大震災後にウィーンで故郷を思い作詞作曲した「春なのに」のCDをリリース。現在、ウィーン少年合唱団のボイストレーナーを務める。ウィーン在住。

平野 玲音 Reine Hirano (チェロ)



©藤原栄治

9歳よりチェロを山崎伸子女史に師事、中学校在学中にコンサート・デビュー。東京大学で美学芸術学を専攻し、表象文化論コース修士課程修了。2002年よりウィーンに留学、ウィーン・フィルのG. イーペラー氏に師事、ウィーン国立音大で室内楽を学ぶ。

オーストリアにて、アレグロ・ヴィーヴォ賞、アルティス賞、ジームス・ウィーン古典派賞受賞。2017年には「ベートーヴェン作品への並々ならぬ功績」に対し、ゆかりの地バーデン市より「ベートーヴェン・メダル」を授与される。

ソロ、室内楽で、ウィーンのコンツェルトハウスを始めヨーロッパ各地で活躍し、一時帰国してNHK-FM「名曲リサイタル」等に出演。オーストリアの「モーツァルト週間」や「ベートーヴェンターゲ」、ドイツの「オストフリースラント夏の音楽祭」といった音楽祭に招聘され、マスタークラスでチェロと室内楽の講師を務める。

「カペラ・アカデミア・ウィーン」、フラー・フォルテピアノ三重奏団、東京・ウィーン四重奏団のメンバー。「平野玲音の演奏は、ピュアで豊かな音楽性によりウィーンの香りを客席まで運んでくれる。これはテクニック重視の現代の音楽界にあって大変貴重なことだ」(『音楽現代』評)

矢崎 さくら Sakura Yazaki (ピアノ)



大野和士指揮 東京フィルハーモニーピアノ協奏曲の夕べに中村絃子と共演し17歳でデビュー以来、国内外で演奏活動を展開。文化庁在外派遣研修員としてクアアチアへ留学し、イーノ・ミルコピッチ音楽院大学院を終了。その後、ウィーン、バルセロナを拠点に演奏キャリアを築き、ウィーン・コンセルヴァトリウム 専属伴奏員を務めるほか、ピアノ雑誌「シヨパン」にスペイン音楽事情に関するレポート記事を連載し好評を得る。

2009年に日本へ帰国。以後、国内外での活動はソロ、デュオ、室内楽、伴奏など広範囲に及ぶ。同時に、近年には国内及び海外での国際音楽フェスティバルや講習会で、日本の参加者への特別解説や通訳を行い支持を得る。そのほか、2010年～2015年までの5年間、駐日アルメニア大使館にて音楽、絵画、舞踊、語学、文学に関わる国際文化交流推進プロジェクト担当を務め、数多くの研修やセミナー、音楽祭の開催を手がける。

桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園音楽大学ピアノ科卒業。これまでに、中村絃子、林秀光、村手静子、コンスタンチン・シロウニアン、エフゲニー・ザラフィアンツに師事する。

桜咲く季節がまた訪れるこの年……

好評発売中!

CD「春なのに」

作詞・作曲・Vocal: 菅野祥子 Vc: 平野玲音
編曲・Pf: 呉睿然 Recording: Wien, TONAL

¥1,000 (税込)

(収益金は菅野さんの故郷陸前高田で被災された方々への義援金とさせていただきます)

【お問い合わせ・お申し込み】平野玲音ファンクラブ事務局 080-6552-2949
cello@reine-h.com